

【家庭訪問】

1 こんにちは赤ちゃん訪問

母親が身近に相談相手を見つけ、相談ができ、子育ての情報を得る事等により地域の中で安心して子育てができることを目的に家庭訪問を実施する。

令和元年度より、訪問時に「赤ちゃんおめでとうギフト」を手渡ししている。

<実施状況>

- (1) 対 象 者 生後4か月を迎えるまでの乳児のいるすべての家庭
- (2) スタッフ 保健師：第1子、ハイリスク者、低出生体重児等
助産師：母乳育児指導を中心とした相談支援
こんにちは赤ちゃん訪問員：第2子以降で育児不安の少ない方
- (3) 周 知 妊娠中：母子健康手帳交付及び妊娠8か月面談時に「こんにちは赤ちゃん訪問」を説明
出生後：市民課総合窓口で「こんにちは赤ちゃん訪問連絡票」提出
うーみんナビ
- (4) 内 容 家庭訪問：母乳や育児全般に関する相談（保健師・助産師）
児の発育評価（保健師・助産師）
子育ての思いや家庭環境、家族の協力などの把握
母子保健事業と子育て支援情報の周知、子育て応援ギフト
申請受理等

<実施結果>

(1) 訪問件数及び結果

対象者460人（令和6年2月～令和7年1月出生者）実施率98.9%

未実施 5人（次年度4月以降に訪問予定1人、面接2人、里帰り先へ依頼2人）
(件)

訪問者	訪問件数	要継続 支援者(再掲)	継続理由（主な理由：延件数）						
			母乳指導	育児不安	母の精神	体重増加不良	協力者不在	育児ストレス	その他
保健師	327	76	7	13	9	13	11	8	24
助産師	65	20	16	17	1	3	1	2	3
訪問員	63	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	455	97	23	30	10	16	12	10	28

(2) 訪問時期 (件)

訪問者	0か月	1か月	2か月	3か月	4か月以降
保 健 師	48	204	55	14	6
助 産 師	23	34	7	0	1
訪 問 員	0	52	10	1	0
合 計	71	290	72	15	7

2 赤ちゃんおめでとうギフト

令和元年度より、赤ちゃん訪問時に出産のお祝いとお子さんの健やかな成長を願うこと及びギフトを直接手渡すことにより地域や人とふれあいを持つことで、母親の孤立感を防ぎ地域の人に見守られているという安心感を抱くことができるように実施している。

<実施状況>

- | | |
|------------|--|
| (1) 対象者 | 赤ちゃん訪問時に蒲郡市に住民票がある児 |
| (2) スタッフ | 保健師、助産師、こんにちは赤ちゃん訪問員 |
| (3) 配布方法 | こんにちは赤ちゃん訪問時に保健師、助産師またはこんにちは赤ちゃん訪問員から手渡し |
| (4) ギフトの内容 | 布バック
乳児用液体ミルク 2 個 |

<実施結果>

配布数	4 6 0 人
-----	---------

3 こんにちは赤ちゃん訪問員

子育て経験のある母親へ赤ちゃん訪問をするボランティアに対し、身近な相談者として保護者を見守り支援するための知識や技術の普及、士気を高めるための講演会や他市との交流会を取り入れた研修会を実施している。また、養成講座を随時実施し、事業の継続を図るため人材を確保している。

3-1 養成講座

乳児のいる家庭を訪問し、保護者の子育てに関する悩みや不安等を傾聴及び保健事業の紹介等、身近な相談者として見守り支援してもらえる人材を養成する。

- (1) 実施日 10月3日(木)、10月17日(木)、11月21日(木)、
赤ちゃん訪問同行1回
- (2) 実施場所 保健医療センター、各家庭
- (3) 対象者 こんにちは赤ちゃん訪問員として活動できる方 4人
- (4) スタッフ 保健師

<実施結果>

- (1) 延参加訪問員数 16人

- (2) 内容及び参加状況 (人)

回	実施日時	内 容	参加人数
1	10月3日(木) 午前10時～11時30分	オリエンテーション 講話「蒲郡市の母子保健の現状」「赤ちゃん訪問員の役割」等	4
2	10月17日(木) 午前10時～正午	(現訪問員と合同研修) 講演会「赤ちゃん訪問で大切なこと」 講師 さくらんぼ助産院 助産師 岩本知帆氏	4
3	10～11月	現訪問員の赤ちゃん訪問に同行	4
4	11月21日(木) 午前10時～11時30分	講話「今後の活動について」「記録の書き方」 委嘱状授与	4

3-2 フォローアップ研修

こんにちは赤ちゃん訪問員が訪問活動を円滑に継続して行なえるよう、知識の普及と保健師との連携を目的に研修会等を実施する。

<実施状況>

- (1) 実施日 4月16日(火)、10月17日(木)、3月17日(月)
- (2) 実施場所 保健医療センター
- (3) 対象者 こんにちは赤ちゃん訪問員 17人(新訪問員4人を含む)
- (4) スタッフ 保健師・講師

＜実施結果＞

(1) 延参加訪問員数 35人

(2) 内容及び参加状況 (人)

回	実施日時	内 容	参加人数
1	4月16日(火) 午前10時～11時30分	令和6年度の保健事業について 令和6年度の赤ちゃん訪問員の活動について等	10
2	10月17日(木) 午前10時～12時	講演会「赤ちゃん訪問で大切なこと」 講師 さくらんぼ助産院 助産師 岩本知帆氏	14 (4)
3	3月17日(月) 午前10時～11時	令和6年度の活動の振り返り・意見交換	11 (3)

※2回目以降は新訪問員を含み () は新訪問員の再掲

健康がまごおり21第3次計画の指標「この地域で今後も子育てしていきたいと思う保護者の割合」

R12年度の目標値：100%

R5年度数値：97.9%

4 養育支援家庭の状況

4-1 養育支援家庭訪問

養育支援が必要と思われる家庭（妊婦・産婦・乳幼児の家庭）に訪問し、日常生活状況に合わせた支援をすることで、子どもの健やかな成長を促し保護者の育児不安の軽減を図るため実施する。母子保健法・児童福祉法改正を受けて、平成22年2月から育児支援家庭訪問を養育支援訪問とし、家庭児童相談室を中核機関に位置づけて実施している。

令和元年度からは、子育て世代包括支援センターが開設され（令和6年度こども家庭センターに移行）早期介入、関係機関との連携を強化し支援している。

<実施状況>

- (1) 対象者 ア 妊娠期から継続的な支援を特に必要とする家庭
 （望まない妊娠や若年の妊婦及び妊婦健診未受診等）
 イ 産後間もない（おおむね産後1年未満）養育者が、育児不安が強い又は孤立感を抱える家庭
 （育児ストレス、産後うつ、育児ノイローゼ等の問題による）
 ウ 虐待の恐れやそのリスクを抱え支援が必要な家庭
 （食事、衣服、生活、境等について不適切な養育状態にある等）
 エ 児童養護施設等の退所又は里親委託の終了により児童が復帰した家庭
- (2) スタッフ 保健師、養育支援訪問員（助産師）
- (3) 内容 家庭訪問による面接相談
- (4) 対象家庭数（再掲：新規）※要保護家庭を含む (戸)

訪問種別 年度	妊娠期から 要支援の家庭	産後間もなく育児 不安等のある家庭	虐待のリスクを 抱える家庭	施設から児童が 復帰した家庭
R4	5 (0)	7 (2)	6 (2)	0 (0)
R5	1 (1)	6 (4)	5 (0)	0 (0)
R6	6 (5)	4 (4)	11 (2)	0 (0)

<実施結果>

- (1) 訪問件数 (戸)

年度	訪問実家庭	訪問延家庭
R4	18	81
R5	12	73
R6	21	123

- (2) 訪問種別 (戸)

種別 年度	妊娠期から 要支援の家庭		産後間もなく育児 不安等のある家庭		虐待のリスクを 抱える家庭		施設から児童が 復帰した家庭	
	実	延	実	延	実	延	実	延
R4	5	10	7	54	6	17	0	0
R5	1	3	6	16	5	54	0	0
R6	2	3	2	12	17	108	0	0

4-2 要保護家庭の状況

養育支援家庭の対象者の中でも、虐待の恐れやそのリスクを抱え支援が必要な家庭(食事、衣服、生活環境等について不適切な養育状態にある等)や児童養護施設等の退所又は里親委託の終了により、児童が復帰した家庭については、要保護児童対策地域協議会実務者会議で対応協議を行っている。

＜実施状況＞

- (1) 対 象 者 ア 妊娠期から継続的な支援を特に必要とする家庭
 (望まない妊娠や若年の妊婦及び妊婦健診未受診等)
 イ 虐待の恐れやそのリスクを抱え支援が必要な家庭
 (食事、衣服、生活環境等について不適切な養育状態にある等)
 ウ 児童養護施設等の退所又は里親委託の終了により児童が復帰した家庭
- (2) スタッフ 保健師、養育支援訪問員（助産師）
- (3) 内 容 家庭訪問による面接相談

＜実施結果＞

- (1) 把握経緯 (戸)

年度	種類	合計	保護者 から相談	関係機関 から相談	妊娠届出	赤ちゃん 訪問	住民から の相談	健診事後
R4		10	1	7	1	1	0	0
R5		5	1	2	0	1	0	1
R6		5	0	2	3	0	0	0

- (2) 訪問種別 (再掲：新規) (戸)

種別 年度	妊娠期から 要支援の家庭	産後間もなく育児 不安等のある家庭	虐待のリスクを 抱える家庭	施設から児童が 復帰した家庭
R4	4 (0)	2 (1)	4 (2)	0 (0)
R5	0 (0)	1 (1)	4 (0)	0 (0)
R6	0 (0)	1 (1)	4 (0)	0 (0)

5 母子家庭訪問・面接相談・電話相談

5-1 母子家庭訪問（こんにちは赤ちゃん・養育支援訪問を除く）及び面接相談

発育・発達に心配のある乳幼児のいる家庭や育児不安を抱える家庭等に対し、保健師等が継続的に相談に応じるとともにその家庭に合わせた保健指導を行い、安心して育児ができるよう支援している。

＜実施状況＞

- (1) 対象者 妊産婦、乳幼児等の保護者
 (2) スタッフ 保健師、助産師、管理栄養士、歯科衛生士

＜実施結果＞

- (1) 訪問実施件数 (件)

年度	実件数	延件数
R5	182	202
R6	104	199

- (2) 面接相談実施人数 (人)

年度	実人数	延人数
R5	243	365
R6	204	277

- (3) 訪問及び面接実施延件数対象者別内訳(延人数) (人)

	訪問						面接					
	保健師		助産師		管理栄養士		保健師		管理栄養士		歯科衛生士	
	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6
妊産婦	33	6	17	20	0	0	11	0	0	3	0	0
新生児 ※未熟児を除く	5	1	1	20	0	0	98	81	28	34	0	0
未熟児	9	11	0	3								
乳児	55	66	20	11								
幼児	55	47			0	0	211	155	2	0	2	1
精神発達	6	2			0	0	2	0	0	0	0	0
その他	1	12			0	0	6	3	5	0	0	0
合計	164	145	38	54	0	0	328	239	35	37	2	1

5-2 電話相談

子育てに悩む保護者が少しでも不安を軽減し、よりよい子育てができるよう対応している。

＜実施状況＞

- (1) 対象者 妊産婦、乳幼児等の保護者
 (2) スタッフ 保健師、管理栄養士、歯科衛生士

＜実施結果＞

電話相談実施件数 (人)

年度	保健師	管理栄養士	歯科衛生士
R5	1,600	55	2
R6	1,147	46	1

6 家庭訪問型子育て支援ホームスタート

地域の子育て経験者が子育て中の保護者を見守り支援することで、安心して子育てできるまちづくりを目指す家庭訪問型の事業を令和6年度より実施している。特定非営利団体に業務委託し、市が人材育成・運営の協力をする行政主導型で立ち上がった。

子育て中の保護者からの申し込みを受け、調整役のオーガナイザーが事前訪問による希望の聞き取りとボランティアのマッチングを行い、ボランティアは最大4回訪問し保護者の子育てに寄り添うことで、自身の子育てを肯定的に受け止め地域に溶け込めるよう支援する。

6-1 養成講座

家庭へ訪問に出向くボランティア「ホームビジター」に必要な知識と技術を学ぶため、ホームビジターの調整役である「オーガナイザー」がホームスタートジャパンで研修を受け、定められたシラバスに添って実施した。

<実施状況>

- (1) 実施日時 5月25日～7月13日 土曜日および個別面談（全8回）
午前9時30分～午後4時
- (2) 実施場所 保健医療センター
- (3) 対象者 ホームビジターとして活動を希望する方
- (4) スタッフ ホームスタートオーガナイザー、NPO法人ヒトトキ、保健師1～3人
- (5) 内 容

実施日	内 容	参加人数
5月25日	オリエンテーション 講話「家庭訪問型子育て支援の役割と意義」	7
6月8日	講話「家庭とは何か、親とは何か～価値観と多様性の理解」 講話「子どもの理解～子どもの発達、障害、人権、関わり方」 講師 名古屋短期大学保育課准教授 瀧田弘子	7
6月15日	演習「傾聴の意義と方法 1」 演習「傾聴の意義と方法 2」	7
6月22日	講話「家庭で活動する上でのポイント」 講話「ホームビジターの実務」	7
6月29日	講話「問題や悩みのある家庭への理解」 講師 NPO法人ヒトトキ理事 近藤さつき 講話「地域の子育て支援の実践と連携」 講師 保健センター 保健師	6
7月6日	演習「家庭の中で活動する1 傾聴と協働の実践」 演習「家庭の中で活動する2 傾聴と協働の実践」	6
7月13日	シェアリング、終了テスト 終了式、登録、交流会	6
7月中	個別面談	6
8月3日	救急救命講習（出前講座）	6

<実施結果>

受講者 7名（修了者6名※） ※未修了者は令和7年度受講予定

6-2 ホームビジター研修会

養成講座を修了したホームビジターが活動の共有や相談を行うことで、活動に対する理解を深めオーガナイザーやビジター同士の交流の機会として実施している。

<実施状況>

- (1) 実施日時 2月22日(土) 午前9時30分～正午
- (2) 実施場所 保健医療センター
- (3) 対象者 ホームビジター養成講座修了者
- (4) スタッフ ホームスタートオーガナイザー、NPO法人ヒトトキ、保健師3人
- (5) 内容 演習、情報交換、交流会

<実施結果>

受講者 6名

6-3 訪問事業

ホームビジターが家庭訪問し保護者を支援することで、保護者の普段の様子を把握しながら状況に見合った相談支援を行っている。保護者の希望に応じられるよう、事前訪問でオーガナイザーが希望の調査と保護者、子どもの様子を把握し支援中のホームビジターの相談も行っている。

<実施結果>

- (1) 支援状況 ホームビジター訪問4回(1回2時間、週1回程度)
オーガナイザー初回訪問(希望調査)・最終訪問(評価)
※必要時 延長訪問2回及び最終評価訪問
- (2) 申込者 15名(終了者13名、支援中1名、利用なし1名) ※9月開始
- (3) 利用者の状況 実件数13件 延訪問数84回

(人)

兄弟児の有無	世帯数	末子の年齢					長子の年齢				
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
なし	5	2	1	1	1	1					
あり	8	4	2	1	1		4	0	1	2	1

- (4) 支援内容 公園・児童館に行く、散歩、調理、お風呂の手伝い、おやつ作り、ねかしつけ、傾聴
- (5) 支援期間 平均5.6週